

活動記録簿の付け方

令和4年4月

一般社団法人全国農業会議所

はじめに

《活動記録を付ける意義》

- ① 日々の活動を農業委員会全体で振り返るために
→ 委員さんの持つ情報を委員会全体で共有するための第一歩
- ② 活動量に応じて農業委員・推進委員の報酬を上乗せするために
→ 農業委員会が農地利用最適化交付金を申請する際の裏付けに
- ③ 農業委員会の活動を組織内外にアピールするために
→ 営農や地域活動と一体となり日常的に行う活動も記録に残し、地域に農地利用最適化の気運を広げましょう

**農業委員会活動をより一層、円滑にするためのカギ！
地域の農業者や農地のために行った活動は
全て活動の記録を取りましょう！！！！**

活動記録の記入について①(記入例)

《活動記録簿について》

農地政策課長通知の別紙様式2に記録簿の参考例

※) 別紙様式3に転記できる内容であれば独自様式の記録簿も可

※) 全国農業図書発行の「農業委員会活動記録簿セット」は別紙様式2とほぼ同一

農業委員会活動記録簿 (8 月分)

氏名 農地 太郎

【記入例1】道すがら荒れている農地がないか確認した場合

No.1					
日時	8月10日	活動時間	20分	場所	自宅・訪問・電話・役場・ 圃場 ・その他
項目 (大-中-小)	3-①-イ その他詳細 ()			会議名	
活動の 相手	氏名		属性	出し手・受け手・関係機関・参入希望者	
	(受け手の場合)該当の有無		認定農業者・認定新規就農者・基本構想水準到達者・集落営農経営		
意向 概要	売・貸・買・借・委託・参入		新規 就農者 情報	現地案内・出し手との立ち合い・関係機関紹介	
	面積(a)	農地バンク の活用意向		有・無	面積(a)
詳細	圃場に向かう途中、〇〇地区△△付近の圃場で荒らしづくりされているのを発見。 事務局に報告し、今後指導に入ることを確認した。				
活動成果	面積(a)		成果内容	受け手と出し手との合意・遊休農地解消・所有者からの貸付同意・新規参入	
	(遊休農地解消の場合)方法			自ら耕作再開・農地バンクに貸付/売却・農地バンク以外に貸付/売却・農作業受委託・その他	
備考					

活動記録の記入について②(ご記入いただきたい項目)

農業委員会活動記録簿 (8 月分)

氏名 農地 太郎

【記入例1】道すがら荒れている農地がないか確認した場合

No.1									
日時	8月10日		活動時間	20分		場所	自宅・訪問・電話・役場(圃場)その他		
項目 (大・中・小)	3-①-イ その他詳細()					会議名			
活動の相手	氏名					属性	出し手・受け手・関係機関・参入希望者		
	(受け手の場合)該当の有無		認定農業者・認定新規就農者・基本構想水準到達者・集落営農経営						
意向概要	売・貸・買・借・委託・参入			新規就農者情報	現地案内・出し手との立ち合い・関係機関紹介				
	面積(a)		農地バンクの活用意向	有・無	面積(a)		希望作目		
詳細	圃場に向かう途中、〇〇地区△△付近の圃場で荒らしづくりされているのを発見。事務局に報告し、今後指導に入ることを確認した。								
活動成果	面積(a)		成果内容	受け手と出し手との合意・遊休農地解消・所有者からの貸付同意・新規参入					
	(遊休農地解消の場合)方法			自ら耕作再開・農地バンクに貸付/売却・農地バンク以外に貸付/売却・農作業受委託・その他					
備考									

(凡例)

= 必ず記入

= 可能であれば記入

= 事務局でフォロー

《必ずご記入いただきたい項目》

○「日時」・「活動時間」

○「項目」・「詳細」

どのような活動をしたのかは、実際に活動をされた委員の皆さんにしか分かりません。

メモで構いませんので、覚えているうちに記載しておきましょう。

書けるところを書いてみて分からない場合、事務局に相談しましょう！

活動記録の記入について③(活動の分類)

大項目	中項目	
	小項目	
1 法令による農業委員会の権限事項(法第6条第1項)	① 総会、研修会等の出席 ② 事前相談、現地確認等 ③ 紛争の調停・仲介 ④ 農地情報収集・提供 ⑤ その他(具体的な活動を記入)	
2 担い手への農地の集積・集約化(法第6条第2項)	最 適 化 活 動	① 出し手・受け手の意向把握 ② 話し合い活動への参加 ア コーディネーター(座長等) イ 農地地図を持参 ウ 農地情報の提供 エ 参加の呼びかけ・準備等 オ その他
		③ 関係機関との打ち合わせ ④ 総会に出席し意見陳述(推進委員のみ) ⑤ その他(具体的な活動を記入) ア あっせん予定農地の案内 イ 書類等の作成支援 ウ その他
		① 現地確認 ア 利用状況調査 イ 利用状況調査以外の現地確認
		② 利用意向調査(把握結果) ア 自ら耕作 イ 農地バンクに貸付・売却希望 ウ 農地バンク以外に貸付売却希望
		③ 不明所有者等の探索 ア 登記状況の確認 イ 現地等での聞き込み ウ 判明した権利者の同意取得
3 遊休農地の発生防止・解消(法第6条第2項)	最 適 化 活 動	④ 遊休農地の解消活動 ア 所有者への営農再開意向確認 イ 受け手への農地の仲介・あっせん ウ 農地バンクへの情報提供 エ 委員自ら解消作業 オ 基盤整備の実施に向けた活動
		⑤ その他
4 新規就農・参入の促進活動(法第6条第2項)	① 希望者の相談対応 ② 新規参入者のフォローアップ ③ 相談会への参加 ④ 参入希望者に対する講習・意見交換 ⑤ その他	
5 法人化その他農業経営の合理化・農業一般に関する調査及び情報の提供(法第6条第3項)	① 経営の合理化の推進 ② 農業者年金の普及推進 ③ 全国農業新聞・全国農業図書普及推進 ④ その他	
6 農地利用の最適化に関する関係行政機関等に対する意見の提出(法第38条)		

《活動の分類方法》

「項目(大→中→小)」欄に活動項目一覧から該当する活動の記号を記入

大項目(1~6):活動の目的

(農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、6条1項の法令業務等)

中項目(①~⑤):取り組んだ内容

(意向把握、打ち合わせ、現地確認、総会への出席等)

小項目(ア~オ):取り組み内容の詳細

(話し合いで担った役割、遊休農地の解消で実施したこと等)

※) 小項目から判断するとスムーズに記入できます。

例1) 農地の見守り活動を行った → 大「3」中「①」小「イ」

例2) 話し合いに向けた準備を行った → 大「2」中「②」小「エ」

「項目」での記入が難しい場合は、「詳細」欄に走り書きでもいいので書き留めておきましょう!

【参考】活動記録の記入について④(活動の分類例)

【「農地の見守り活動」と「仲間への声かけ活動」の例】

活動内容	活動項目 (9頁参照)	該当する活動
情報交換会で今後の農地の意向について話をした	2-①	出し手・受け手の意向把握
○さんが来年からは引退したいと話しているのを聞いた	2-①	出し手・受け手の意向把握
○さんが自宅に来て経営継承についての話をした	2-①	出し手・受け手の意向把握
○さんから電話で農地バンクに農地を貸し付けたいと相談を受けた	2-①	出し手・受け手の意向把握
担当地区の状況を事務局と共有した	2-③	関係機関との打合せ
朝、田んぼに行く際に周りの農地の無事を確認した	3-①-イ	現地確認
○さんの畑に建設残土が搬入されているのを見つけた	3-①-イ	現地確認
気になっている遊休農地があったので、近くの畑を耕している○さんに話を聞いた	3-③-イ	不明所有者等の探索 (現地等での聞き込み)
新規参入に興味を持っている○さんを誘ってフェアに参加した	4-③	相談会への参加

何気ない普段の活動も「農業委員会の活動」に当たります。
とりあえず書いてみましょう！

仲間への声かけ活動

事務局との打ち合わせ

農地の見守り活動

【参考】活動記録簿の記帳を徹底するために

委員の皆さんからはこんな声が……



「あれは個人的にやったことだから」
「書くのがめんどくさい」
「書き方が分からない」



◎書き方のアイデア

- ・ 農業委員会手帳にメモをする
- ・ 携帯のメール等にメモをする
- ・ ノートや付せんなどにメモをする

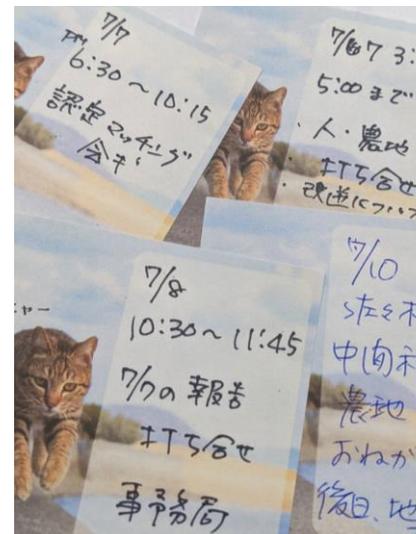
→書けるものを持ち歩いて最低限の情報を残しておく！



解消しなければ
「見える化」は進まない

《活動記録の「まみむめも」》

- 「ま」 毎日書きましょう
- 「み」 見たこと聞いたことをすべて書きましょう
- 「む」 難しく考えずにとにかく書きましょう
- 「め」 面倒くさいと感じる前に書きましょう
- 「も」 問題点は必ず事務局と共有しましょう



10月1日 15時
佐藤さん あっせん

10月2日 13時
伊東夫妻 年金

10月3日 15時
渡辺さん 意向把握

【事例】佐賀県唐津市農業委員会事務局の委員への呼びかけ

「日報を書き忘れないための3か条」

その1 日報は日常生活の動線上に置いておく

*毎日必ず行く所に置いておくこと必ず目に入る！

例えば・・・

- ◆食卓の自分の席
- ◆洗面所の歯ブラシの近く
- ◆トイレ
- ◆お布団の枕元
- ◆軽トラの中（施錠は確実に！） など

その2 日報にはボールペンをセットしておく

*せっかく書こうとしても、ボールペンが見当たらないと、「後で書こう・・・」となって、結局書かないから！

その3 何でもかんでも、とりあえず書く

*書くべきか悩んで結局書かないよりも、とにかく何でもかんでも書く。該当しないものは後から外せばいい！

→ 活動した都度、記入してもらう
手が空いたときに記入してもらう

→ 記入しない理由を作らない
（書き溜めの防止）

→ 深く考えずに思ったように書いてもらう
（記入に迷うと書くのが面倒に）

きれいに丁寧に書く必要はありません！！

内容が確認できれば、箇条書き、なぐり書き、単語の羅列などなど・・・どのような書き方でも構いません。

醤油のシミがついていても構いません。

とにかく、活動したらメモを取る感覚でどんどん日報を書いていってください！！

【事例】すべての活動を記録し、事務局と共同で見直し 佐賀県神崎市農業委員会

1 神崎市農業委員会について

- 農業委員会の体制（平成31年4月1日改選）
農業委員13人、推進委員20人（事務局長1人、係長1人、主事1人、任用職員1人）
- 農地の状況（令和3年3月時点）
耕地面積 3,070ha（担い手への農地集積率86.8%、遊休農地率1.62%）
- 活動の体制
農業委員と推進委員がともに協力して農地利用の最適化に取り組んでいくため、市内13の活動班で両委員の共同により農地パトロールや定期的なミーティングを実施
- 令和3年度の活動目標
 - ①あぜ道立ち話の充実 「あぜ道立ち話は立派な聞き取り活動、委員だからこそできる活動」
 - ②活動班による遊休農地の定期的な現地確認
 - ③新規就農希望者の相談活動



2 活動記録の取り組みと効果

- 活動記録の取り組み
 - ①活動を書き残し、見返し、次の活動に繋がるよう**独自の様式を作成**
 - ②あぜ道立ち話、電話や寄合での相談等、**委員が行ったすべての活動を記録**
 - ③活動記録は**毎月10日までに事務局に提出**（未提出時は事務局から催促）
 - ④**委員と事務局が、一緒に報告書の内容を訂正・追記**
- 情報共有の効果
 - 活動班の活動が**活発化**
 - 活動班が連携して農地の受け手を掘り起こす等、**班を超えた活動に発展**
 - 委員と事務局の情報共有も**進み、コミュニケーションが円滑に**

神崎市農業委員会独自の活動記録報告書（記入例）

〇〇年 ◆ 月〇△日	活動項目	3 - ①	小項目より転記、 具体的に記載	農地集積・集約化等の調整活動
※ 活動班単位での活動は、各委員とも、同じ内容でのご報告をお願いします。	(共に活動した方)	活動班(〇〇推進委員、□□推進委員)	(活動の具体的な内容)	相談者は、高齢で耕作等できないので農地を貸したいとのこと。
実活動時間	16 : 00 ~ 17 : 00	推進委員とともに、新たな受け手の掘り起こしを行うことになった。		〇〇地区は法人化しておらず、受け手となる担い手も少ないので、周辺地区の法人組織や担い手を検討してみることとなった。
主な活動場所	〇〇地区相談者宅、現地	(活動の結果、課題)	・成果 達成	この地区は法人化しておらず、受け手も少ないので、今後も同様の相談があると思われる。



3 事務局から呼びかけていること

- ①忘れないうちに書きとめましょう。忘れないようにメモをとることを心がけましょう。
- ②ちょっとした活動でも書きましょう。短時間の相談や電話での話も、相手の気持ちを受け、聞き取った活動です。
- ③活動班で取り組んだことは、班の全員が必ず書くようにしましょう。
- ④活動の結果や委員の意見・感想を書き記しましょう。自分の想いも次へと繋げましょう。
- ⑤活動状況の写真も撮りましょう。写真はデータで事務局と共有しましょう。
- ⑥事務局への文句は報告書に書かず、直接お話ししましょう。